

F SPORT PARTS

MS343-48005/6/7
リヤディフューザー

取付・取扱要領書

この度は F SPORT PARTS リヤディフューザーをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は未登録車への取り付けは出来ません、取り付けは車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合車種

品番	塗装色	適合車種	備考
MS343-48005-A0	ホワイトノーマルガラスブレーク(083)	RX '22.10～	
MS343-48005-C0	グレアイトブラックガラスブレーク(223)		
MS343-48006-NP	未塗装品		
MS343-48007	ブラックディフューザー		

・最新の適合情報は TRD カタログサイトをご覧ください。 <https://www.trdparts.jp/>
※本製品は F SPORT PARTS スポーツマフラーと同時装着になります。

■ 構成部品

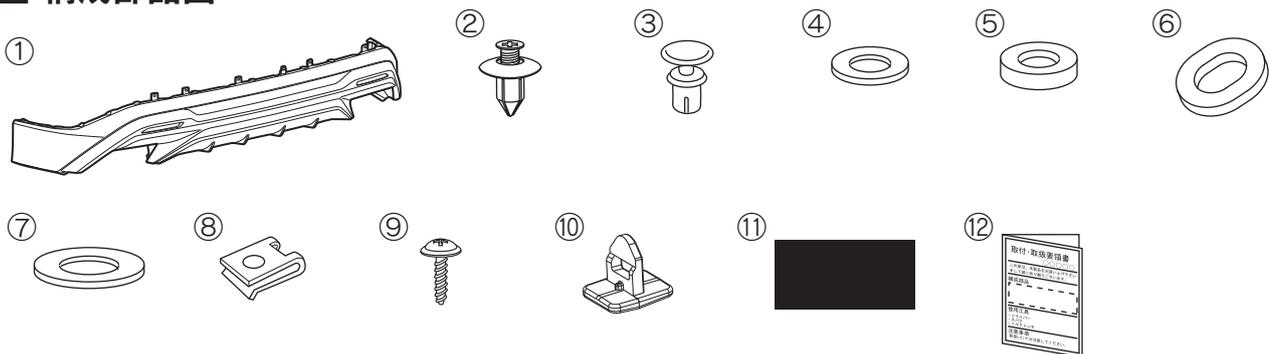
No.	部品名	数量	備考
①	リヤディフューザー	1	
②	クリップA	4	
③	クリップB	1	
④	樹脂ワッシャーA	2	t=2.0 内径8 外径13
⑤	樹脂ワッシャーB	1	t=3.0 内径5.5 外径15
⑥	ラバーワッシャーA	6	t=1.0 (楕円形状)
⑦	ラバーワッシャーB	4	t=1.0 内径13 外径20
⑧	Jナット	2	
⑨	タッピングスクリュー	2	
⑩	バンパークリップベース	8	
⑪	ブラックアウトフィルム	1	20mm×40mm
⑫	取付・取扱要領書	1	本書

以下、MS343-48006-NP (未塗装品セット) のみに同梱

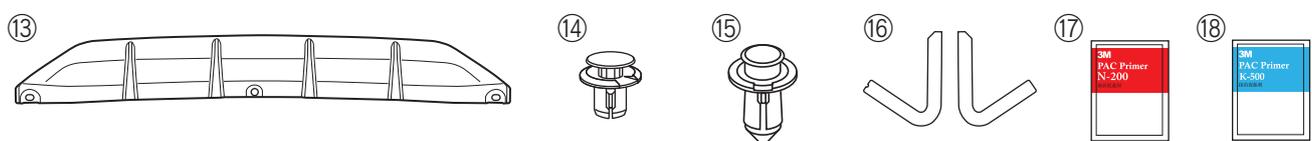
No.	部品名	数量	備考
⑬	アウターピース	1	
⑭	クリップB	1	
⑮	クリップC	2	
⑯	マスキングテープ (RH/LH)	各1	
⑰	PAC プライマー (赤袋)	1	N-200
⑱	PAC プライマー (青袋)	1	K-500

※確認・本商品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全てそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図



以下、MS343-48006-NP (未塗装品セット) のみに同梱



取付上のご注意（取付作業者の方へ）

作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行ってください。



警告

この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行うと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。



注意

注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行うと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。



アドバイス

スピーディに安全な作業をしていただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⊘ やってはいけないこと

❗ 必ず行なっていただくこと



警告

- ⊘ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行わないでください。
- ❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足りないと脱落などにより重大な事故や故障を招くおそれがあります。



注意

- ❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
- ❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行ってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について(別添の脱脂作業要領も参考にしてください。)

- ❗ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
- ❗ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

- ❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❗ 両面テープは一度貼り付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼り付けはできません。
- ❗ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❗ 両面テープの圧着は49N(5kgf)以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

未塗装品の塗装作業について

- ❗ 本商品は塗装前に下地処理が必要です、必ずサフェーサー塗装から始めてください。
- ❗ 本商品に塗装をする際は、両面テープを全面マスキングしてください。
- ❗ 乾燥させる際は製品の変形の無いよう固定してください。又、乾燥温度が高いと変形やひび割れを起こしますので70℃以下で乾燥させてください。

取り付けが終わったら

- ❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。
- ❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 目次

1. 表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図 1～2
2. 取付上のご注意（取付作業者の方へ） 3
3. 目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図 . . . 4
4. 取付準備、取付要領 5～8
5. 取付完了後の点検・注意事項 8
6. 未塗装品の取扱いについて 9～11

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・ 一般工具
- ・ 保護メガネ・軍手・保護シート・保護テープ
- ・ イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

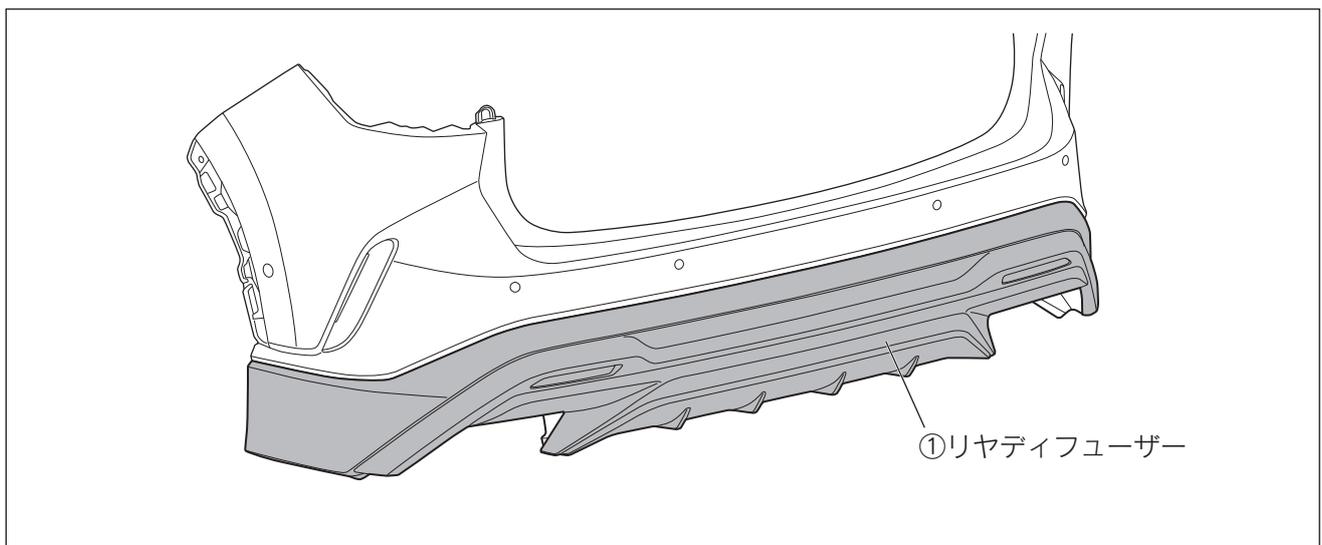
本商品は、3年・60,000Kmの保証を実施致します。

（3年または60,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<https://www.trdparts.jp/>>

「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図



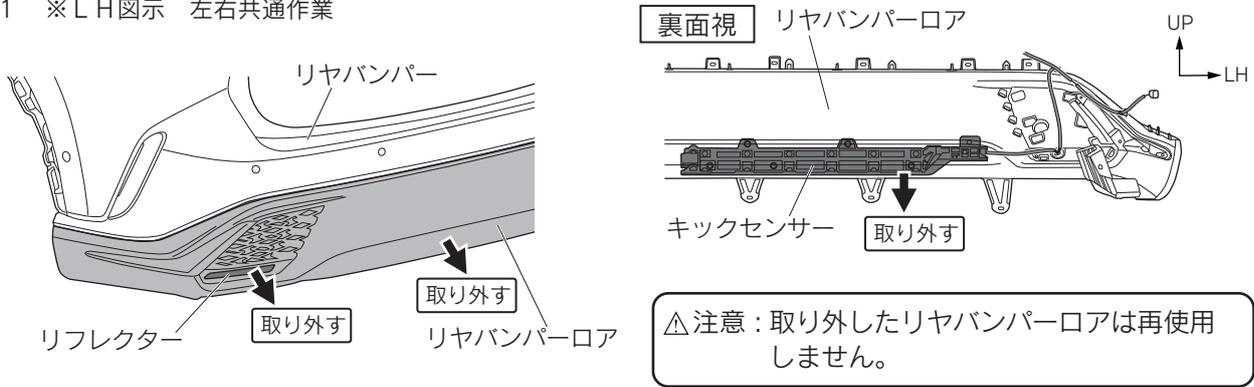
■ 取付準備、取付要領

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□ リヤディフューザー取付準備

1. 該当車両の修理書に従い、車両からリヤバンパーを取り外す。
2. 図1のように該当車両の修理書に従い、リヤバンパーからリヤバンパーロアを取り外し、リヤバンパーロアからキックセンサー、リフレクターを取り外す。

図1 ※LH図示 左右共通作業



△注意：取り外したキックセンサー、リフレクター、車両ビス、車両クリップ類は再使用しますので、無くさないように必ず保管してください。

3. 図2のように①リヤディフューザーにキックセンサーを移設する。

- ・締結部 A：車両クリップ、④樹脂ワッシャー A※キックセンサー別ピースに貼り付ける（2箇所）
 - ・締結部 B：③クリップ B、⑤樹脂ワッシャー B※キックセンサーに貼り付ける（1箇所）
 - ・締結部 C：車両クリップ（3箇所）
- ※④樹脂ワッシャー A、⑤樹脂ワッシャー B は、貼り付け部を脱脂後貼り付ける。

図2 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

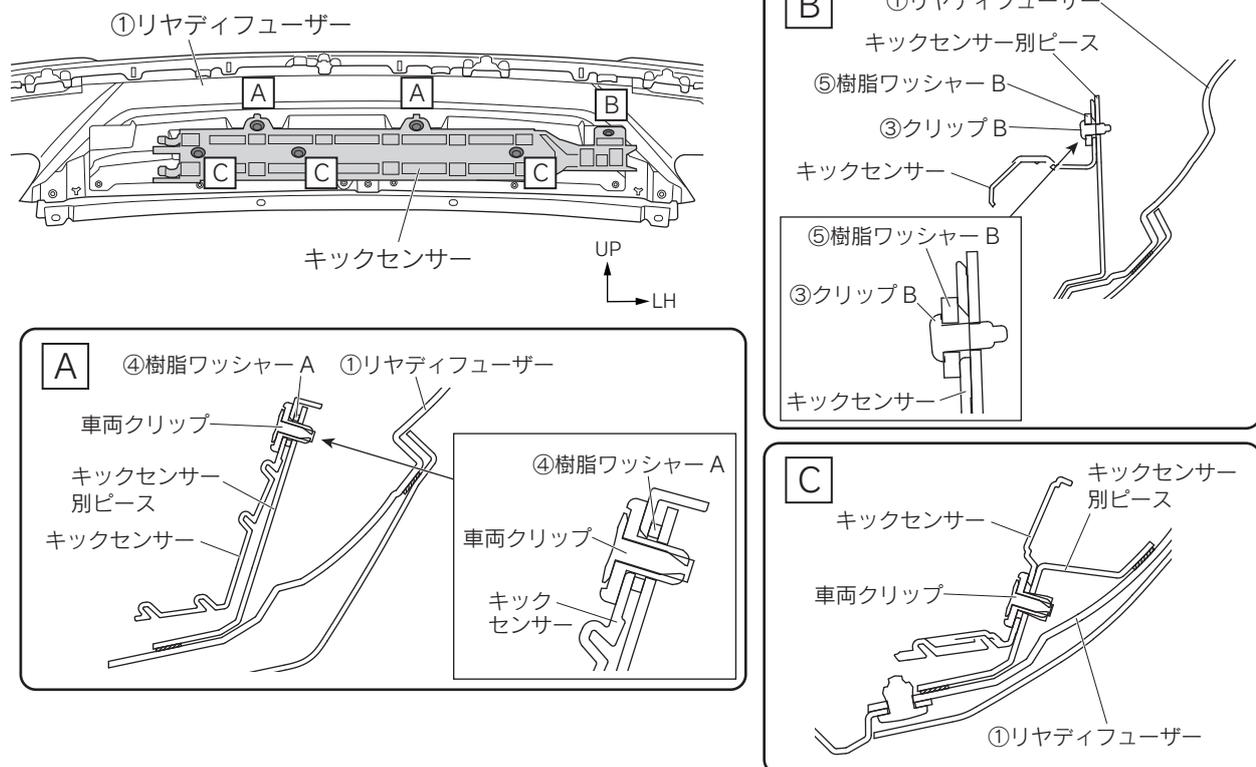
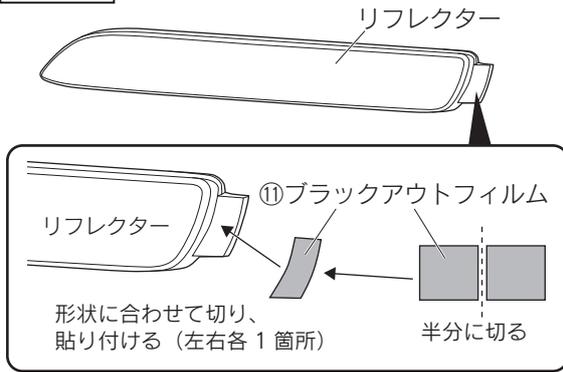


図3 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

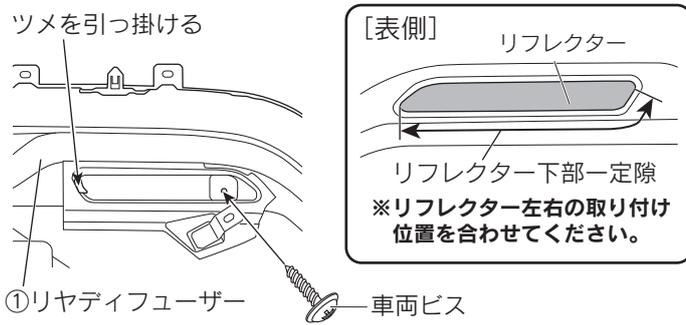


4. 図3のようにリフレクターの先端形状に切り抜いた①ブラックアウトフィルムをリフレクター裏側に折り返しがるように貼り付ける。(左右各1箇所)
 その際に貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール (IPA) で一方向に拭いて脱脂する。

△注意:脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

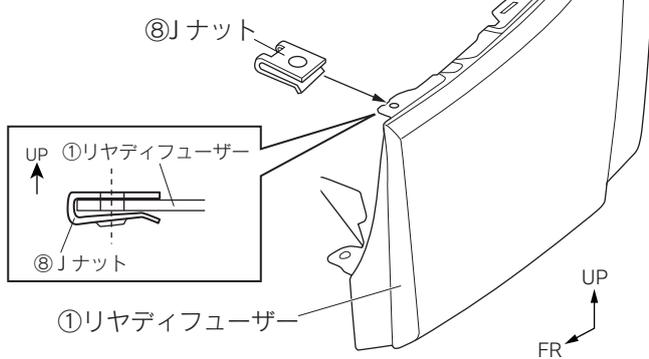
👉アドバイス:脱脂後は、10分程度乾燥させてください。

図4 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



5. 図4のように①リヤディフューザーにリフレクターを車両ビスで取り付ける。(左右各1箇所)

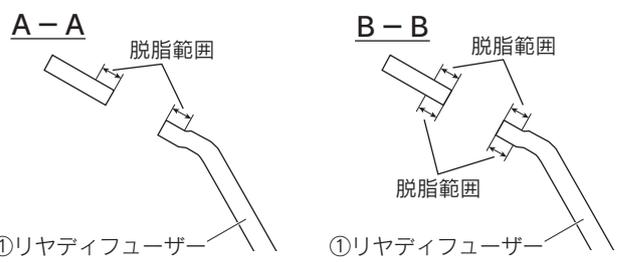
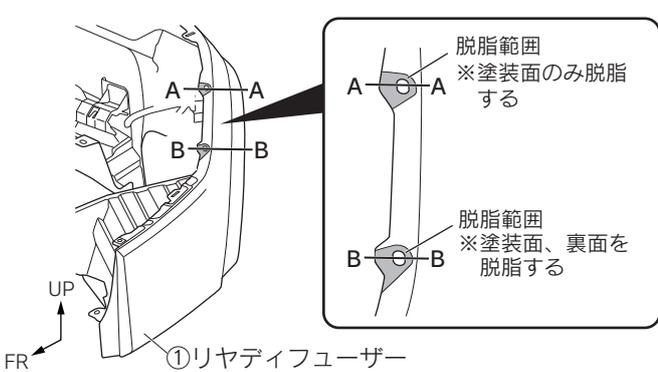
図5 ※LH図示 左右共通作業



6. 図5のように①リヤディフューザーに⑧Jナットを取り付ける。(左右各1箇所)

7. 図6のように①リヤディフューザーの⑥ラバーワッシャー A 貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール (IPA) で一方向に拭いて脱脂する。(左右各3箇所)

図6 ※LH図示 左右共通作業



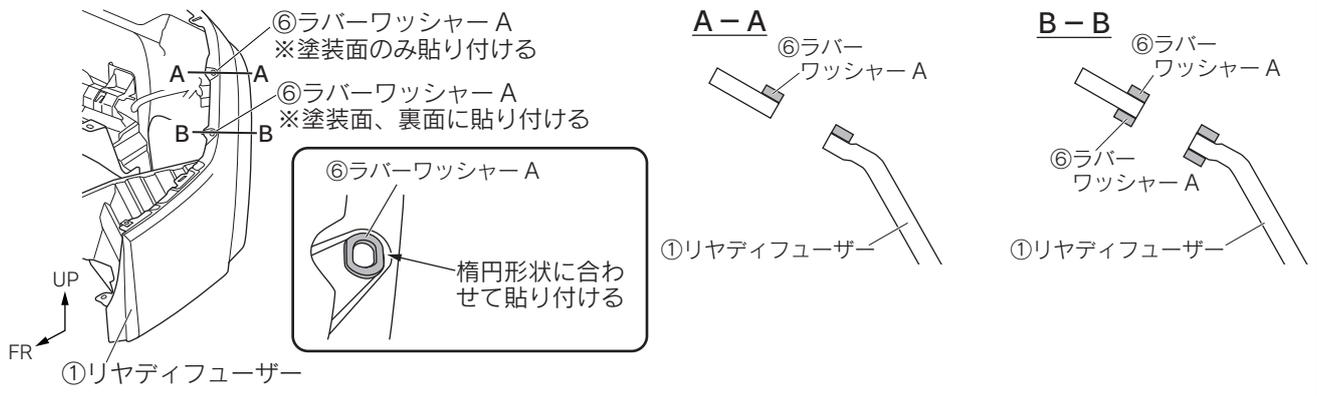
△注意:脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス:脱脂後は、10分程度乾燥させてください。

8. 図7のように①リヤディフューザーに⑥ラバーワッシャー A を貼り付ける。(左右各 3 箇所)

- ・A-A部：塗装面のみ貼り付ける。
- ・B-B部：塗装面、裏面に貼り付ける。

図7 ※LH図示 左右共通作業

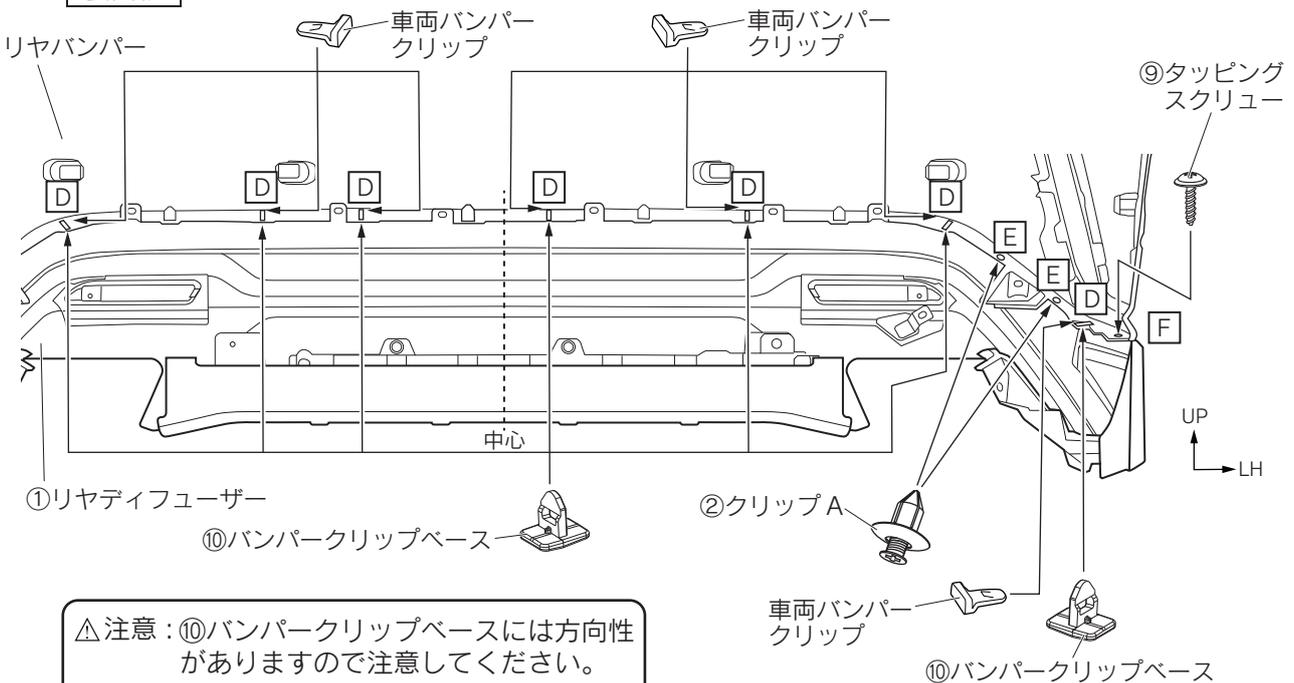


□リヤディフューザー取付要領

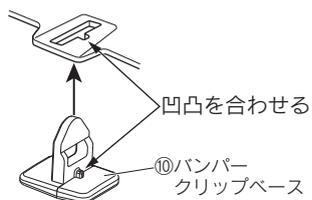
1. 図8のようにリヤバンパーに①リヤディフューザーを取り付ける。

- ・締結部 D: ⑩バンパークリップベース、車両バンパークリップ (中央部 6 箇所、左右各 1 箇所)
- ・締結部 E: ②クリップ A (左右各 2 箇所)
- ・締結部 F: ⑨タッピングスクリュー (左右各 1 箇所)

図8 裏面視 ※LH図示 左右共通作業

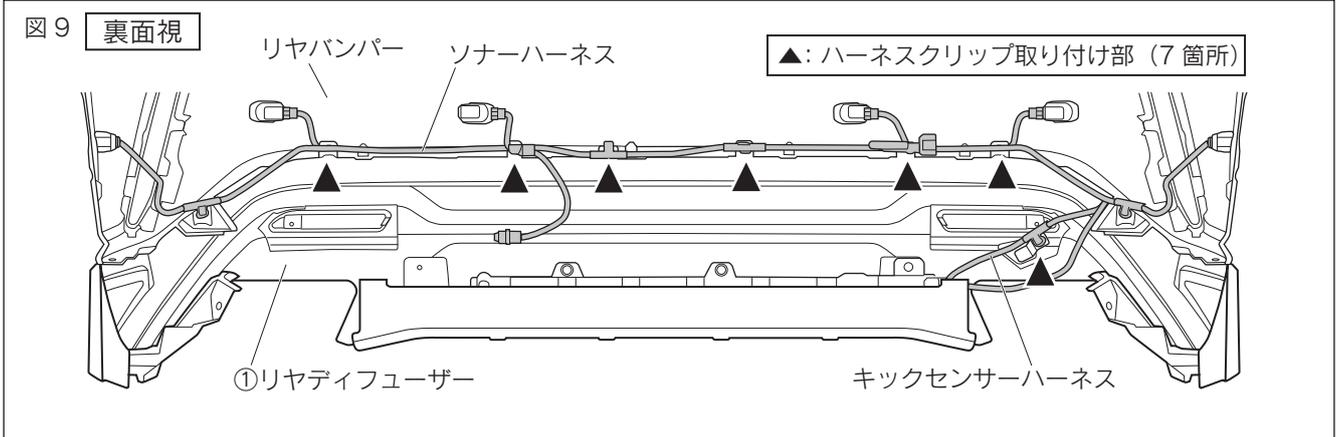


△注意：⑩バンパークリップベースには方向性がありますので注意してください。

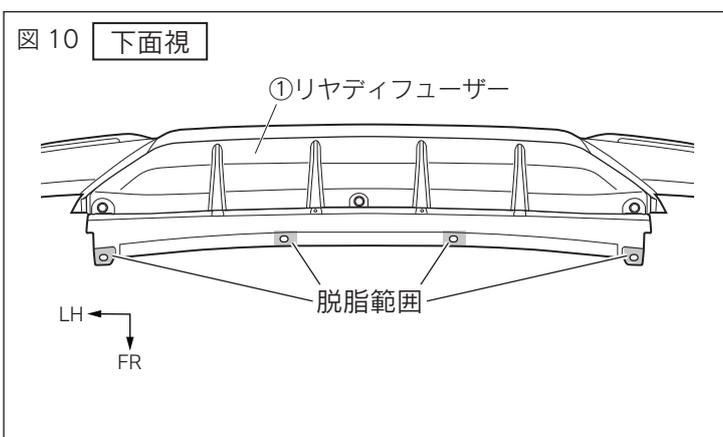


△注意：車両バンパークリップの差し込み方向はリヤバンパーのケガキを参考にしてください。

2. 図9のようにキックセンサーハーネス、ソナーハーネスを取り付ける。



3. 該当車両の修理書に従い、リヤバンパーを車両に復元する。※この時、下面締結部は取り付けない。

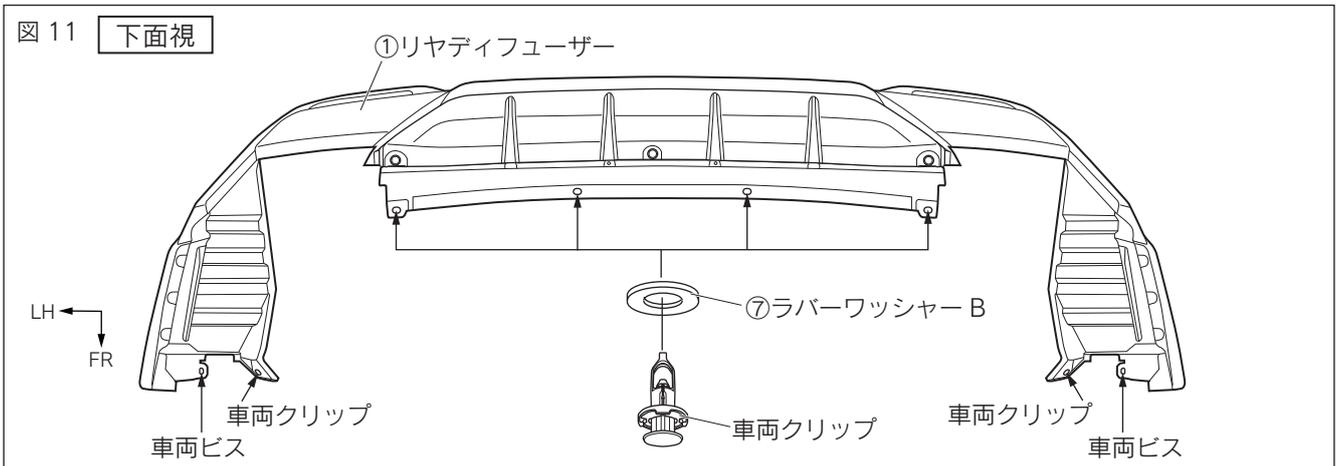


4. 図10のように①リヤディフューザー下面の⑦ラバーワッシャー B 貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール (IPA) で一方向に拭いて脱脂する。(4箇所)

△注意: 脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉アドバイス: 脱脂後は、10分程度乾燥させてください。

5. 図11のように①リヤディフューザー下面中央に⑦ラバーワッシャー B を貼り付けて車両クリップで固定し(4箇所)、下面左右を車両ビス(左右各1箇所)、車両クリップ(左右各1箇所)で固定する。



6. グレードが F SPORT Performance の場合 【必ず行ってください】
 該当車両の修理書の ドア／ハッチ＞パワーバックドアシステム＞カスタマイズ機能＞
 PBD キックセンサ感度調整の項目を参照し、感度設定を「+1」から「+2」にしてください。

■取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両及びリヤディフューザー廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
 該当車両の修理書(トヨタ自動車(株)発行)に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

■ 未塗装品の取扱いについて

下記は未塗装品（MS343-48006-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
 下記要領に従い作業を行ってください。

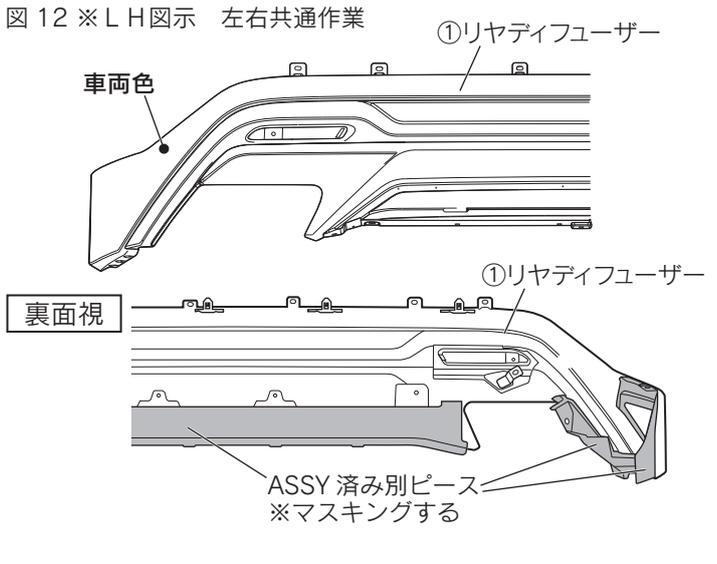
△注意：本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

△注意：プライマーは非導電性のものをご使用ください。

※本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行ってください。

□ リヤディフューザーの塗装

図 12 ※ LH 図示 左右共通作業



1. 図 12 のように①リヤディフューザーを車両色で塗装する。

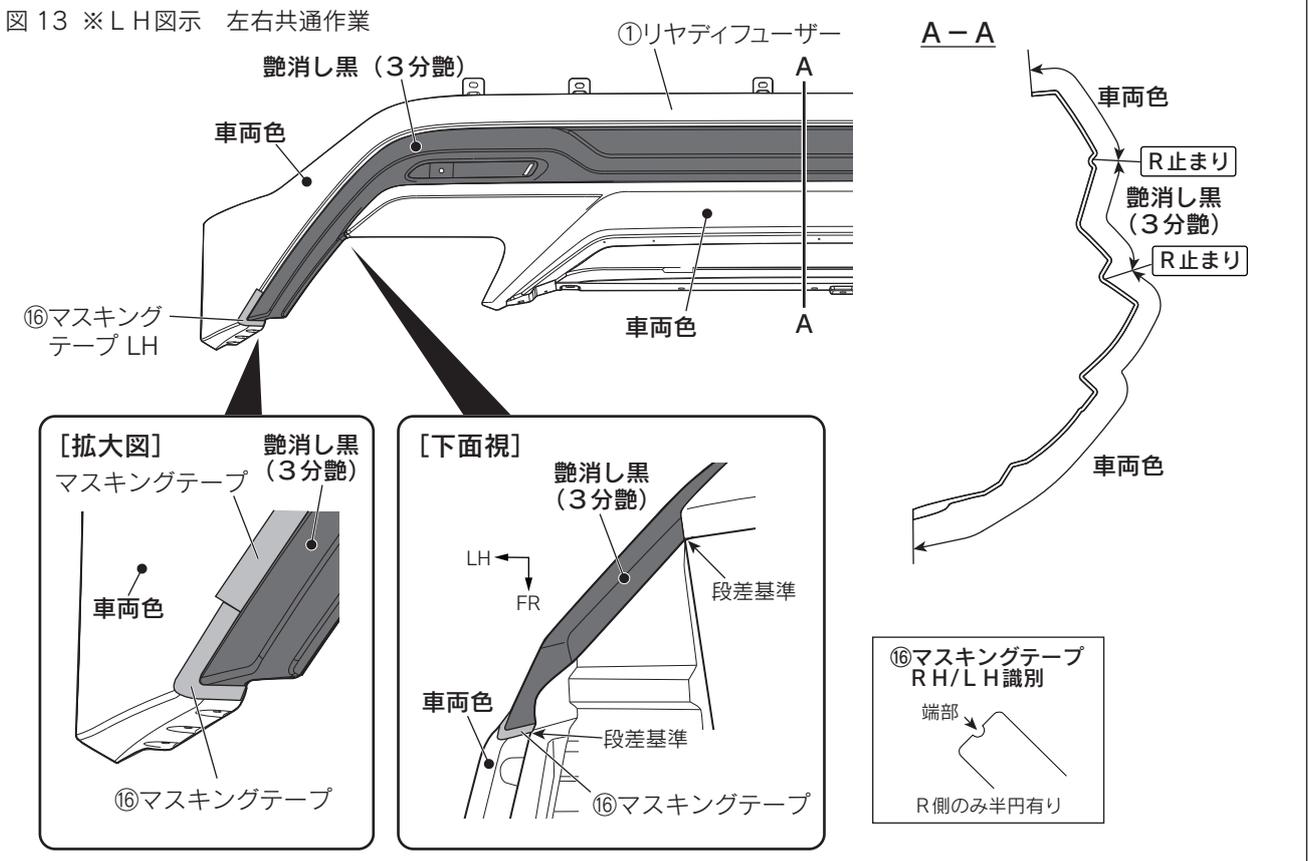
△注意：乾燥温度を 70℃ 以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。
 強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

△注意：①リヤディフューザーに ASSY 済みの別ピースは塗装が掛からないようにマスキングしてください。

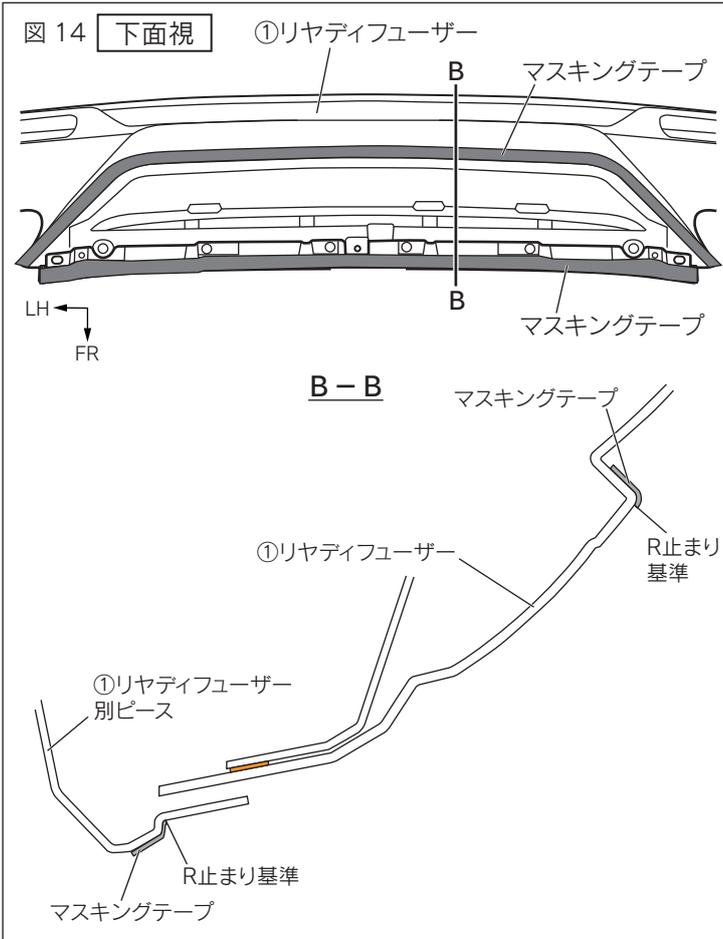
△注意：アルミテープは確実にマスキングしてください。塗装されますと機能が損なわれます。

2. 図 13 のように①リヤディフューザーに⑯マスキングテープと、艶消し黒部外周にマスキングテープを貼り付け、艶消し黒（3分艶）で塗装する。

図 13 ※ LH 図示 左右共通作業

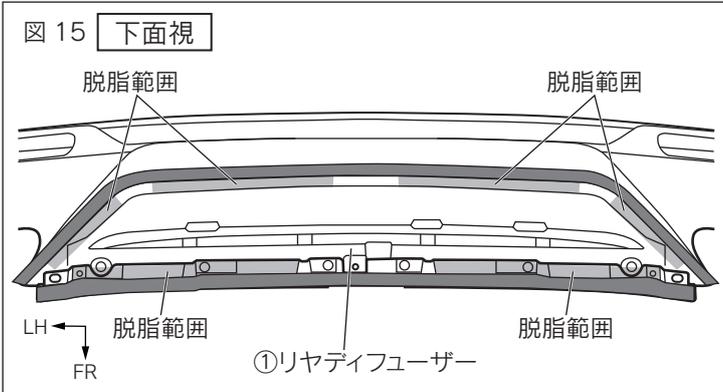


□アウターピースの取り付け



1. 図 14 のように⑬アウターピースの両面テープ貼り付け部に合わせて①リヤディフューザーにマスキングテープを貼り付ける。

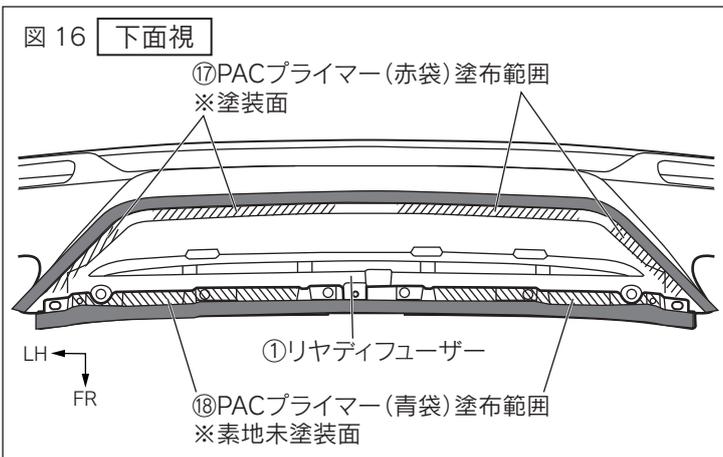
△注意：PACプライマー塗布範囲のマスキング作業のため正確な位置出し、マスキングを行ってください。



2. 図 15 のように①リヤディフューザー下面の両面テープ貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール (IPA) で一方向に拭いて脱脂する。

△注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

👉 アドバイス：脱脂後は、10分程度乾燥させてください。

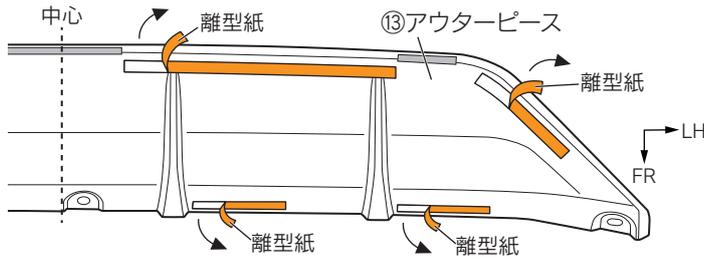


3. 図 16 のように①リヤディフューザー下面の両面テープ貼付け部 (左図斜線部) に⑰PACプライマー (赤袋)、⑱PACプライマー (青袋) を塗布する。

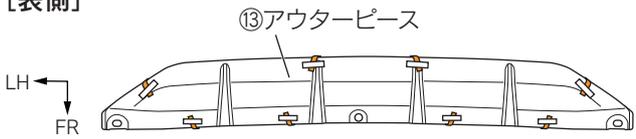
△注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール (IPA) で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

4. マスキングテープを剥がす。

図 17 裏面視 ※LH図示 左右共通作業



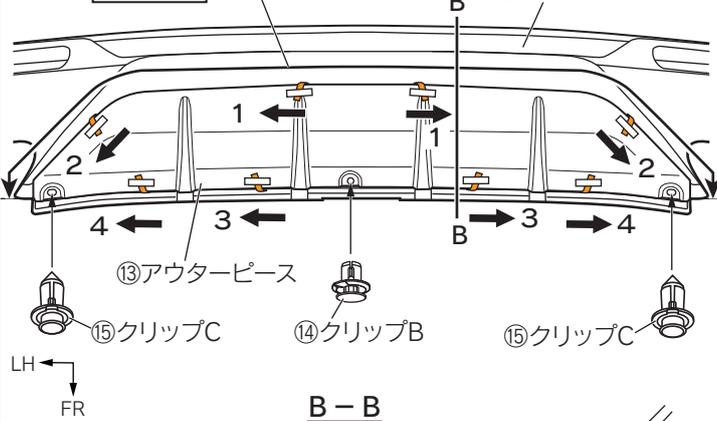
[表側]



5. 図 17 のように⑬アウターピース裏面の両面テープの離型紙を矢印の方向に約30mm剥がしてマスキングテープ等で表側に貼り付ける。
(左右各4箇所)

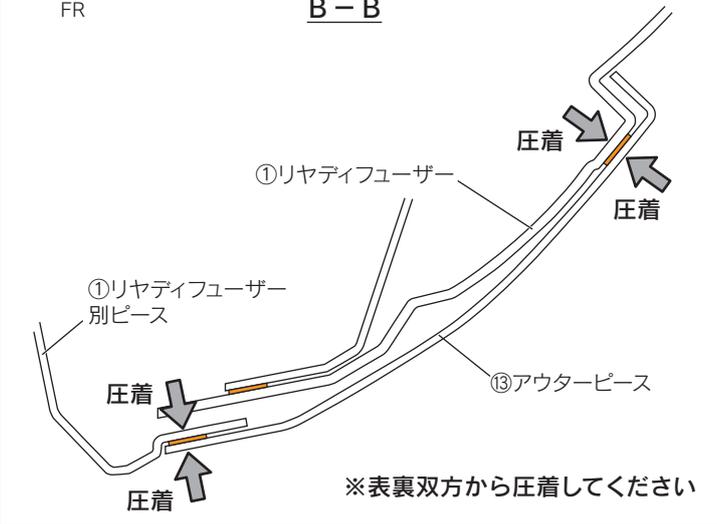
△注意:両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼り付け作業前に両面テープ部及び車両の貼り付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

図 18 下面視 外周一定隙 ①リヤディフューザー



6. 図 18 のように①リヤディフューザー下面の穴位置および形状に合わせて⑬アウターピースをあて、下面を⑭クリップB (中央1箇所)、⑮クリップC (左右各1箇所) で固定する。
取り付け位置を確認して両面テープの離型紙を矢印の方向へ番号順に剥がしながら貼り付け圧着する。(左右各4箇所)

△注意:両面テープの離型紙を指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生するおそれがあります。



株式会社トヨタカスタマイジング&ディベロップメント
TRD 商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-2121
<https://www.trdparts.jp/>